

平成29年度 呉羽高等学校アクションプラン - 1 -

重点項目	学習活動（学習指導の充実）					
重点課題	・自主的学習習慣の定着と教科指導の向上					
現状	<p>①本校生徒の進学志望達成のためには、日々の授業を大切に、生徒が計画性をもって自発的に学習に取り組むことが必要である。しかし近年の調査によると、生徒の平日の学習時間は減少はしていないものの横這い状態であり、まだ不十分であるのが現状である。</p> <p>②教える側の教員自身も生徒にとって分かりやすい魅力的な授業を行うため、授業方法の改善と充実を図る必要がある。新学習指導要領に向けた主体的な深い学びを実現するために、従来の指導に加え、新しい視点を導入した指導が求められていることは教員間に浸透しているが、限られた実践にとどまっている。</p>					
達成目標	<p>①生徒の平日学習時間（授業を除く）</p> <table border="0"> <tr> <td>1年生 2. 0時間以上</td> <td rowspan="3">}生徒の割合</td> </tr> <tr> <td>2年生 2. 5時間以上</td> </tr> <tr> <td>3年生 3. 0時間以上</td> </tr> </table> <p>※年3回実施する学習実態調査のデータより</p>	1年生 2. 0時間以上	}生徒の割合	2年生 2. 5時間以上	3年生 3. 0時間以上	<p>②生徒の学習状況の実態を把握・分析するためにアンケート調査を実施し「主体的に授業に取り組むことができた」と答えた生徒の割合</p> <p>③今年度の授業(実技・実習以外)において、アクティブラーニングを実践したことのある教員の割合</p>
	1年生 2. 0時間以上	}生徒の割合				
2年生 2. 5時間以上						
3年生 3. 0時間以上						
	① 70%以上	<p>② 80%以上</p> <p>③ 80%以上</p>				
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習生活実態調査、日々の授業や面接を通して生徒の学習状況を把握すると共に、生徒に自発的に学習する習慣を身につけさせ、学習内容の充実を図り、最低限の学習時間を確保させる。 ・各教科からの週末（週間）課題について、生徒が自発的に取り組むことが出来るように、その内容や分量の充実を図る。 ・「生徒学習記録表」を活用して、進路指導部や学年と連携しながら、生徒一人一人に合った学習内容の充実と学習時間増加推進に取り組ませる。個人面接等では、「生徒学習記録表」を見ながら指導を継続していくことにより目標達成を図る。 					

評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった

平成29年度 呉羽高等学校アクションプラン - 2 -

重点項目	学校生活（生徒指導）	
重点課題	① 「挨拶」を自主的に行い、自覚を持って「服装」を正しく着用する生徒の育成。 ② スマートフォン・携帯電話について、節度のある使用が自主的にできる生徒の育成。	
現状	①過去3年間にわたり、継続して「挨拶」と「服装」に重点を置いて指導してきた結果、生徒たちの挨拶は少しずつよくなっており、服装についても全体に落ち着き、よい傾向にある。ただし、この状態をさらに高めていく意識がなければ、せっかく醸成されてきた校風を崩してしまう恐れがある。 ②昨年度実施したアンケートによると1日(平日)スマートフォンまたはフィーチャーフォンの平均使用時間が3時間越えの生徒は入学して学期が進行していくたびに増え2年1学期8%が一番多く、2学期以降減ることが分かった。90分越えの生徒は学期進行では大きく変わらず35%前後で3年になって減っていくことが分かった。	
達成目標	①生徒の自己評価について〈5：いつもきちんとできる、4：だいたいいつもできる〉の割合。	②平日のスマートフォン・携帯電話の使用時間について90分以内の使用者の割合。
	<ul style="list-style-type: none"> ・【挨拶】「授業」60%以上、「校内」70%以上。 ・【服装】男子80%以上、女子70%以上。 	1, 2年生では80%以上、3年生では90%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、生徒指導部と各学年が連携して、生徒玄関や学年の廊下で生徒に挨拶をする。 ・職員会議や生徒議会などを通して、挨拶のできる呉高生の意識を共有する。 ・授業の始まりや終わりの挨拶をよくなるまでやり直させる。よくできたら褒める。 ・校紀委員会を活用し、標語を募集したり、さわやか運動に積極的に参加するよう促す。また、クラス内でも服装や挨拶に気をつける雰囲気作りに努めさせる。 ・各学期の始めと中頃に2回、各学年で一斉服装頭髪指導を行い、落ち着いた学習環境を維持することに努める。 ・必要に応じて、個々の生徒の状況に応じた個別指導を担任と連携して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のスマートフォン使用状況について詳細な調査を行う。調査の結果を生徒に伝達し、自分たちの使用実態について自覚させるとともに、HR活動で結果について話し合う機会を持ち、改善点や改善方法について自分たちで考えさせる。 ・定期考査前にはスマートフォン使用時間の低減を呼びかけるスローガンを校紀委員に伝達させ、自主的に使用の制限をするよう働きかける。 ・1年生に「スマホケータイ安全教室」を実施し、SNS使用の危険性について専門家の講話を通して指導する。 ・教科「情報」の教員と協力し、情報モラルやセキュリティの意識の向上を図る。

達成度

(評価基準)

A：達成した

B：ほぼ達成した

C：現状維持

D：現状より悪くなった)

平成29年度 呉羽高等学校アクションプラン - 3 -

重点項目	進路支援（進路指導の充実）	
重点課題	進路意識を高め、進路目標の実現に向けて学力を向上させる。	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自己の能力や適性を的確に判断しようとする意識や、将来の進路に関する目標設定が低く、そのため学習への意欲が弱く取り組みの甘い生徒が多い。 ・生徒一人ひとりがまず自分をよく知り、将来の進路への意識を高め、主体的かつ持続的に考えながら選択し、目標実現に向けて努力していけるようにすることが最も大切である。 ・そのための方策を系統立てて明示し、学校生活の中で時期を意識しながら伝えることや、学期の進行や学年進行とともに進路意識を醸成させられるような支援システムを構築する必要がある。 	
達成目標	① 3年次の進路志望実現の達成	② 進路行事等を契機として自己の進路の明確化がなされた生徒の割合
	進学率90%以上	進学希望か就職希望かの決定率 全学年、10月時点で100% 進学希望者は志望学部・学科の決定、就職希望者は希望職種決定の率 3年生は10月時点で90%以上 2年生は10月時点で80%以上 1年生は10月時点で70%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ○3年進級時に、早期に進路志望を明確化し、計画的に学習するよう助言する。最終的には1月に出願校を検討し、出願校決定と進路実現率の関係を調べる。 ○3年間を通した計画的な進路指導を行い、生徒・学校・家庭が一体となり、進路志望実現を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年・・・生活習慣や学習習慣を確立させる。「総合的な学習の時間」等で進路研究を行い、自己理解や適性を把握させる。 ・第2学年・・・進路研修旅行等を通して大学や学部について研究し、自己の適性をふまえた進路選択ができるよう指導する。 ・第3学年・・・高い進路志望を持ち、実現できるように長期・中期・短期の学習計画を立てさせ、意欲を持続させる。 ○学習記録表を活用し、家庭や部活動顧問の協力を得て、学習習慣や生活習慣の見直しを自らさせる。 ○校内模試や外部模試を有効に活用し、結果を模試検討会で分析しながら教員間で情報を共有し、事後の指導に活かす。 ○3年生の個別指導（教科添削、小論文、面接）を徹底する。 ○入試問題研究を行い、授業力の向上に活かす。 ○入試動向を調査し、それらをもとに本人の適性や成績・意欲などを総合的に勘案し、適切な志望校選択を支援する。 	

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

平成29年度 呉羽高等学校アクションプラン - 4 -

重点項目	特別活動（生徒会活動の周知と行事の一層の充実）	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の広報活動を充実させ、生徒会と一般生徒や教職員との協力・連携を強める。 ・生徒の行事への積極的な参加を促すと共に、行事の内容を深め、より生徒の充実感を高める。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒会は積極的に活動し、各行事での中心的な役割を果たしている。しかし、一般生徒や教職員にはその活動内容が見えていないことも多い。生徒会の広報活動を通じ、生徒会の活動を生徒・教員に理解してもらい、互いにできることを考え協力し合うことで、より良い行事にすることができる。 ・本校生徒の行事満足度は高く、学校生活の充実につながっている。生徒会や各実行委員会も活動しており、中心的なリーダーの活躍もみられる。しかし、一方では行事の参加意識や関わり方には違いが見られる生徒もいる。より生徒の興味・関心を高め、参加意識を向上させ満足度や充実感を一層向上させたい。 	
達成目標	① 生徒会の広報活動の回数	② 行事に充実感をもてた生徒の割合
	「たより」発行 年5回以上 掲示板の更新 随時 HPの更新 行事前後	80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の活動内容と各行事の状況等を「たより」や掲示板、HPを通じて発信する。 ・生徒議会や生徒総会で生徒会の活動内容を伝え、生徒や教職員の理解を深める。 ・必要に応じてアンケート等を利用し、生徒の要望や行事の意見等が生徒会に伝わるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケートを実施し行事に生徒の意見や要望を積極的に取り入れ参加意識を高め、事後アンケートでは次年度に向けて行事の改善を図る。 ・HR活動などを通じ、生徒の自主性を生かした運営を重視し指導する。 ・計画から運営まで主体的に取り組めるリーダーを育成する。

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

平成29年度 呉羽高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	特別活動（図書館活動の充実）	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の読書意欲を高め、豊かな知性と感性を育む。 ・学習情報センターとしての機能の充実を図り、生徒の利用を促進する。 ・音楽コースがある進学校という本校の特色を生かした図書館運営を目指す。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・年に本を全く読まないという不読者が10%程度おり、3冊以下の割合も半数近く存在する。 ・学習情報センターとしての利用に加えて心の居場所として図書館のより一層の活用が望まれる。 	
達成目標	① 1年間の読書冊数3冊以上の生徒の割合	② 1ヶ月平均の図書館入館者数（のべ人数）
	60%以上	480人以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2学年を対象に「読書の時間」を年2回設定し、「社会を知るための読書」をテーマとして新書やブックレットに親しむ機会を設ける。 ・1・2学年を対象に「HR読書会」を年1回実施し多様な考え方を認め合うとともに、読書へのきっかけ作りとする。 ・全学年を対象に「小論文対策図書案内」を作成し進路実現の支援を図る。 ・読書感想文・感想画コンクールを実施する。 ・図書委員が、テーマ展示や図書館フェアを企画・実施し、併せて生徒が共感できるターゲットを設け、それに即した本の紹介をする。 ・「図書館だより」を毎月発行し、推薦本・新着図書・学習関連本などを知らせる。 ・新着本やテーマ本の配置を工夫し、本が生徒の目に入りやすいように配置する。 ・生徒の貸し出し冊数等をクラスごとにグラフ化し掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵書を充実させるとともに、本以外のメディアに対しても積極的な収集を図り、多様なニーズに応えられる資料収集に努める。 ・各教科・学年・各分掌・部活動との連携を図り、積極的な図書館の利用を推進する。 ・図書委員会の活性化を図り、図書館フェア・店頭選書など各行事に主体的に取り組みせ、一般生徒の図書館への関心・理解を深める ・年2回教養講座を開催し図書委員以外の幅広い生徒の参加を呼びかける。 ・学校ホームページに図書館からのお知らせ欄をつくり、新着本の紹介や図書館だよりを掲載する。 ・PTA役員に働きかけ、本の紹介や読み聞かせ等のボランティアを依頼する。 ・館内に落ち着いた音楽を流す等して利用者が落ち着ける雰囲気を作る。 ・ミニコンサートや歴史講座などを実施する。 ・図書館入口スペースの有効活用をはかる。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成29年度 呉羽高等学校アクションプラン - 6 -

重点項目	その他（保護者・生徒・教職員・地域との連携）	
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 本校教育活動とPTA活動の連携を図るとともに、地域の声を聞き、開かれた学校づくりに努める。 	
現状	<ul style="list-style-type: none"> 学校と保護者との関係は良好であるが、各行事への保護者の参加は多くない。 SPTA懇談会は、年2～3回の開催であるが、呉高芸術祭の食堂運営、生徒の生活実態等について、生徒・保護者が意見交換を行う大変有意義な機会となっている。 ホームページへの行事の掲載率は90%程度と高いが、更新時期が遅れたり、更新されていないものもある。中学生や地域の方から頻繁な更新を望む声も聞かれる。 ホームページに生徒・保護者・職員限定で閲覧できる学校行事の写真集「ギャラリー」を3月より開設し、1年間の生徒の活動を紹介している。 	
達成目標	①PTA総会・役員会・SPTA懇談会等の出席率	②本校の学校行事等について、ホームページの更新を概ね2週間以内に行い、校内外へのタイムリーな広報に努める。
	<ul style="list-style-type: none"> PTA会員対象行事は出席率30%以上 PTA役員対象行事は出席率50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の概ね2週間以内の更新率70%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動のパンフレットやホームページを通して各行事の様子を知らせる。 PTA行事の案内が保護者に伝わるよう、各学年と協力する。 SPTA懇談会については、特活部・健康指導部等の関係部署との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の担当者へ事前事後の更新を促す。 PTA会報「三陵」にホームページやギャラリーの更新についての案内を掲載する。

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)